



落合 範良

(平政・公明党)

檜山安東氏城館跡の整備

質 窪谷氏より寄附いただいた土地は、今後どのように整備していく考えか、また、公園部分の庭木は手つかずのまま、樹木も丈が伸び眺望を妨げており手入れが必要ではないか。

答 寄附いただいた土地については、除草等の管理を継続するとともに整備計画の策定を進めていく。本丸跡にある庭木については、剪定が必要な状況を確認しており、近々実施することとしている。また、眺望を阻害している樹木は、今年度策定する遊歩道等の支障木の伐採計画に基づき、景観の確保に努めたい。

定住施策の取り組み

質 Uターン、イターンの方々を移住支援するため、空き家バンクを創設し情報発信することを提案したいが市の考えは。

答 県内では15の市町村が空き家バンク制度を実施しているが、行政としてのかかわり方に温度差が見受けられ、制度の成果が見えないなどの問題点も報告されている。市としては、こうした事例も踏まえ、行政としてどこまで担うべきかなどを見きわめながら、空き家バンク制度の創設について検討したい。

その他の質問事項

- 子ども議会の開催
- 市道で排水の悪い箇所の対応は



小野 立

(よねしる・立志会)

大型複合遊具、説明責任を果たすべき

質 市民の間に大きな違和感を残したまま、河畔公園の大型複合遊具はまもなく着工する。工事発注に先立ち、市民に向け、説明の機会を設ける必要があるのではないか。

答 今回の設置は、能代河畔公園の遊具の整備をどのようにするのか検討していた中、市民の皆様からいただいたアンケートなどをもとに設置することとして、6月定例会で議決していただいたものであり、遊具の整備のための説明会等の開催は考えていない。なお、広報への掲載や保育所等へのチラシの配布等により周知したい。

大型七夕の観覧者数をどう見るか

質 今年の観覧者数29万人は市民の実感からほど遠い。これを基礎に展示施設を整備するのは間違いのもとである。この数字をどう理解しているか、市長の目測も加味してお答えを。

答 主催者発表では、8月3日21万人、4日8万人計29万人となっている。市以外の団体が主催するイベントにおいては、市としても主催者発表の入込客数を使用している。市長としては、3日については、昨年と遜色ない人出であり、4日については、平日であることもあり、昨年よりは少なかつたと感じている。

その他の質問事項

- イオン計画地の送電線の現況は
- イオン能代店存続要望決議の取扱い
- 陸上競技場をサッカー競技に供用する予定は



佐藤 智一

(希望)

子供向け防災教育の取り組み

質 広島での大規模土砂災害からの教訓は。また、小・中学校での防災教育の実施状況は。

答 広島での土砂災害のように非常に対応が困難な最悪の災害が起こり得るということを想定しておくことが重要な教訓であると捉えている。また、全ての小・中学校において、自治会や保護者等も含めた地域防災委員会を設置し、避難訓練を実施するとともに、年間指導計画及び防災マニュアルにより計画的に指導している。

J3ブラウブリッツ秋田の支援状況は

質 子供たちのスポーツの選択肢をふやすためにブラウブリッツへの支援が必要では。

答 市としては、サッカーも含めたスポーツ全般について、子供たちの選択肢をふやすため、どのような取り組みができるか研究したい。



その他の質問事項

- 樹木管理の専門窓口を設置しては
- ふるさと納税を活用し早期PRを
- 市ホームページのスマホ対応を